



おおきに

ニュースレターVol. 24

2011.9 発行
NPO法人スペシャルオリンピックス日本・京都
〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2
京都YMCA内<3F>
TEL 075-211-1574 FAX 075-211-1590
HP <http://www.son-kyoto.com>
E-mail miyake3-2@nifty.com

"Let me win but if I cannot win Let me be brave In the attempt"

「私に勝たせてください。もし勝てないとしても頑張る勇気を持たせてください」

2011年スペシャルオリンピックス 夏季世界大会・アテネ

サポートコーチ 竹越佳保里

今回私の役割は、program staff として、大会中はボウリングの競技担当と大会運営に携わらせていただきました。競技場では世界各国のアスリートたちと交流をはかることができました。笑顔でハイタッチを交し合えば言葉が伝わらなくてもお互いを理解できる事、スポーツを通して繋がりがあえる喜びを感じることが出来ました。大きな世界に立ってみて学んだことは、やろうとすれば何でもできるということ、今まで重ねてきた努力こそが身に付き、力として発揮できる事でした。

アスリートたちの自らの目標に向かって一心不乱に突き進む姿、不安や緊張も喜びと楽しみに変えてまっすぐに自分と勝負できる強さ、日に日に進化していく彼らの姿に毎日胸を弾ませていました。そんなアスリートたちと共に過ごす中で、私自身も積極的に今を楽しむことに夢中になることが出来ました。

大会の中でもギリシャの日本大使館に招待していただいたことが印象に残っています。たくさんの日本食を用意していただき、ギリシャ料理に慣れないアスリートたちは、びっくりするほど日本食を食べ、久々に再開する仲間たちと大はしゃぎで写真を撮り合ったり、お互いの健闘を誓い合ったり、本当に有意義な時間を過ごさせていただきました。

大使館での交流の後、日本食効果もあってか、後半の決勝ではそれぞれのアスリート達が自分の力を精一杯出し切れたように思います。担当させていただいたボウリングチームは、8名のアスリート全員が金メダルを持って帰ることが出来ました。シングルスではなかなか成果が出なかったのですが、ダブルスチームでアスリートたちの力が大爆発！仲間と一緒に戦うことで、励ましあいフォローをし合う選手たちが本当に逞しく見え、プロのアスリートの力を間近で感じました。自分の力を出し切り、最高の笑顔のアスリートたちを見る事が出来、私も体中から喜びが込み上げ、もらい泣きをしてしまいました。

大会期間中に有森裕子団長とお話する機会がありました。この世界大会にアスリートたちと出場することが私の夢であったことを話すと、「ずっとずっと願っていたら夢は必ず叶うんだよ。今回の大会で感じたことをたくさんの人に伝えてほしい。」とお話下さいました。その言葉に胸が熱くなり、参加できたことの嬉しさと、これから自分がすべき課題、新たな夢を見つけることが出来ました。

アスリートたちの、仲間や競技に対する一生懸命な姿勢、彼らをサポートするコーチたちの優しさ、ボランティアの方々の暖かさ、大会運営者の影での努力、全てがそろわないとできない大会、その支えの一つに自分もなれた事を嬉しく思います。

願い続けた夢が叶った大会は、今まで経験したことのない、きっとこれからもなかなかすることにできない貴重な体験をさせて頂き、生涯においても忘れられない素晴らしい思い出となりました。大きな不安はたくさんの学びとなり、教えてもらった確かなことを京都のアスリートやコーチに伝えていきたいです。

世界大会を通じて、今まで知らなかった世界を知ることが出来た事、素晴らしいメンバーの一員になれた事を本当に嬉しく思っています。たくさんの人との出会いのチャンスを頂けた事を本当に感謝しています。これからも日々の活動を続けていくこと、そしていつかまた世界大会に参加する夢を叶えたいと思います。

スペシャルオリンピックス夏季世界大会を終えて

日本選手団バレーボールヘッドコーチ 城 裕幸

まずは、今回のワールドゲームを支えていただいた、応援していただいた全ての人に感謝いたします。選手団全てのアスリート、コーチが本当に貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました！！



今回のバレーボールチームは熊本、京都、宮城のアスリート12人、コーチ3人で構成されたチームでした。

それぞれの地区でライバルとして切磋琢磨しているアスリートたちが一つのチームを作り上げました。体格的に他国に比べると明らかに小さな日本チームでしたが、どのチームにも負けない大きな勇気をもって全員がチャレンジを続けた大会でした。

今回、数多く感動する場面がありましたが、一番の感動はやはりアスリート一人ひとりの最後まであきらめない姿勢です。我が日本チームは終始、厳しいゲームが続きました。途中で投げ出しそうになってもおかしくない状況の連続でしたが、全員がそれぞれの目標を忘れることなく、最後までひたむきに努力し精一杯プレーし続けた姿には大きな感動をもらいました。最終戦を終えて、そんな姿を見て、私自身、自然と涙していました。

大会中、選手村に戻ってからもアスリートたちは自主的な練習や話し合いを繰り返し、それぞれの目標を達成するために最大限の努力をしていました。この努力こそバレーボールのアスリートたちにとっては今大会の一番の収穫だったと感じています。そして、私たちコーチにとってもアスリートの頑張り、成長を間近で見ることができたことは最高の成果でした。最終戦、成長した一人ひとりのアスリートのプレーは本当に嬉しく誇らしげに感じました。そんな全てのアスリートに感謝です。ありがとう！！



ギリシャのヘッドコーチと



ゲーム中



パルテノン神殿にて

バレーボールアスリート 橋本真明

6月から7月にかけての20日間、僕はギリシャに行きました。ロードス島で合宿している時、腸炎になってしんどかったです。寝ていたら2日で治りました。

それからアテネでバレーボールの試合をたくさんしました。僕はサーブをがんばりました。外国のアスリートはみんな大きくてびっくりしました。メダルは取れなくて4位でしたがうれしかったです。熊本の荒木成也君や村上直子ちゃんたちと友達になりました。又会いたいです。



ゲーム前に気合

試合のない日にみんなでパルテノン神殿に行きました。たくさん歩きました。人が多くて暑かったです。

ギリシャは遠かったけれど、毎日すごく楽しかったです。

城コーチ、西村コーチ、お友達みんなにいっぱいお世話になりました。ありがとうございます。



バレーボール黄瀬修一の姉、横田雅世です。

弟は学習障害で文章が自分で考え書けないので…、私の思いも含めメールさせていただきます。

世界大会アテネに行けて[とても良かった]と本人が言っていました。

大会1週間前に出発しロードス島で綺麗な海と空を見、気持ちよく試合に望む環境だったようですが…アテネへの移動の船の中で、喉の調子が悪くなり、本番の試合では熱などはなかったのですが、声がかすれ出せず残念でした。

でもゲームに入り、課題であったサーブもほぼ入り、勝てなかったけれど精一杯やったと言う思いはあったようです。[頑張った]と言ってました。

世界大会に行くととてもよかったです。本当にありがとうございました。

他のプログラムでもたくさんのアスリートが参加できればいいですね。

コーチや事務局の方々には本当にお世話になりました。

ありがとうございました。

バレーボールアスリート 浮田 礼子

あつという間にスペシャルオリンピックス・アテネ世界大会の6月がやって来ました。私は、大変楽しみにしていたので、体調を崩さない様に、病気をしない様に気をつけていました。

いよいよ出発です。長いフライトの後で、ロードス島に行く前に、ドーハのホテルで休憩しました。ドーハのホテルを出発して、アテネに向かいました。アテネ市内についてから、市内のホテルで1泊しました。アテネからロードス島に出発しました。



ロードス島で、体調を整えて、バレーボールの練習もしていました。リゾートホテルで、それはすばらしい所でした。それから、ロードス島から船に乗ってアテネへ向かいました。アテネに着いてから、1日休養して、開会式が始まりました。バレーボールの練習や試合が続いて私も疲れていました。



警察のキャンプ場に11日間泊まりました。6月の末に1日日本大使館に行きました。久々に日本料理を食べる事が出来て、すごくうれしかったです。日本に帰ってきた気分になりました。

7月に入り、いよいよバレーボールの決勝戦が始まりました。他の国のチームの人達は、すごく強かったです。試合が終わってから、ユニティーの試合を見てすごく感動しました。

この世界大会に参加してすごい、いい思い出ができました。ありがとうございました

2011SO夏季世界大会アテネ競技結果

【水 泳】

小林 洋祐

※ 個人400メートル自由形

タイム：5分34.02秒 銀メダル

個人200メートル自由形

タイム：2分41秒53 6位

個人100メートル自由形

タイム：1分10秒69 6位

【バレーボール】

4位

黄瀬修一、安田知史、安田良行

橋本真明、浮田礼子



2011年スペシャルオリンピックス アテネ世界大会の応援に参加して

浮田ファミリー

娘がバレーボールで世界大会に参加させて頂きましてとても感謝しています。本人は、もちろん私たち親もギリシャにはじめて行きました。

古い歴史の町で、本でしか見たことのないパルテノン神殿には、世界中の人々が見学に来ていて、感動しました。



ホテルから地下鉄に乗ってバレーボール会場に通いました。ロシア、フィンランド、トルコ、アメリカ、ギリシャと試合が続きました。自分の子が、サーブする時は、祈る気持ちで見守りました。（ハラハラドキドキしながらの応援です。）熊本、京都、宮城の合同チームでしたが、アスリート達は、必死で普段の練習の力を出していました。

ギリシャの経済状態が悪く、ストライキが続き、更に暴動も起こり、地下鉄がストップして、タクシーで会場まで応援に行った日もありました。このような状況下で、世界大会を開催して下さったアテネの多勢の関係者の方々に心から感謝しています。

この素晴らしい世界大会がこれからも続きます様に心からお祈りします。

水泳アスリート 小林洋祐



6月18日から7月6日までアテネに行って来ました。

100m・200mは6位でしたが、最後の400mで2位になりました。表彰式で銀メダルをもらい、とてもうれしかったです。



開会式・閉会式は演出がとてもすごく、特に閉会式の花火が一番綺麗でした。

ギリシャ料理は少し口に合わなかったけど、ギリシャ語でおはようとかんにちはを覚えてきました。応援ありがとうございました。

今後の予定

- トーチウォーク
11月13日（日） 10:00～12:30 植物園北門前から御池中学校
- 地区大会
 - 開会式 11月13日（日） 12:15～12:30 御池中学校
 - バレーボール 10月29日（土） 13:15～17:00 サンアビリティーズ京都
 - バスケットボール 11月20日（日） 9:00～16:00 御池中学校
 - サッカー 11月27日（日） 8:30～16:00 京都サンガ城陽練習場
- 創立15周年クリスマス会 12月18日（日） 18:00～21:00 ルビノ京都堀川



スペシャルオリンピックス・ユニティカップ経過報告

1.開催概要

- ◆開催日時：2010年7月3日（土）2010FIFAワールドカップ準々決勝当日の試合前
- ◆会場：グリーンポイントスタジアム（南アフリカ、ケープタウン）
- ◆試合形式：11人制、20分（10分ハーフ）
- ◆主旨：世界中で何百万人の視聴者がいるワールドカップにおいてサッカー界や各界の著名人とスペシャルオリンピックス（S0）のアスリートがチームを組み、ユニファイド（S0アスリートと障がいのない人がチームやペアで参加する独自の競技形式）の試合をすることでS0の認知度を向上させ、スポーツを通じてインクルージョンのメッセージを共有する。
- ◆参加者：ワールドカップに出場する32カ国から選ばれたスペシャルオリンピックスのアスリート16人、およびサッカー界の伝説的人物や各界の著名人

【スペシャルオリンピックス・日本 アスリート】
 橘 勇佑：スペシャルオリンピックス日本・京都
 1991年10月生まれ 京都府京都市在住



【サッカー界・各界の著名人 16名】

中田 英寿、ジェイコブ・ズマ（南アフリカ共和国大統領）
 チャン・ツイイー、ディケンベ・ムトンボ（S0グローバルアンバサダー）
 クラレンス・セードルフ、アラン・シアラー、ローリー・フェア、
 エンリケ・ボルハテオフィロ・クビジャス、デジリー・エリス、スティーブ・サマー
 ケビン・キーガン・クリスティアン、カランブー・ルーカス・ラデベ

◆主なスケジュール（選考～出発）

- 4月19日：S0国際本部より、橘勇佑スペシャルオリンピックス・ユニティカップ出場決定通知
- 5月21日：「スペシャルオリンピックス・ユニティカップ記者発表」@岸記念会館
- 5月22日：日本代表 岡田武史監督表敬訪問@さいたまスタジアム
- 6月 4日：京都にて橘さん取材（NHKおはよう日本・TBS情報番組Nスタ・新聞各紙）
- 6月19日：adidas様ご招待・パブリックビューイング日本代表戦観戦@埼玉アリーナ
- 6月29日：成田空港出発

2.記者発表

- ◆開催日時：2010年5月20日（木）14:00～
- ◆会場：岸記念会館1階 日本スポーツマンクラブ
- ◆出席者：有森 裕子 認定NPO法人 スペシャルオリンピックス日本 理事長
 橘 勇佑 NPO法人 スペシャルオリンピックス日本・京都 アスリート
 井垣 勉 日本コカ・コーラ株式会社 広報本部
 コーポレートコミュニケーションズグループ部長
- ◆主旨：スペシャルオリンピックス・ユニティカップの開催、そしてこの史上初の取り組みに、本からアスリートが出場すること、そして橘勇佑さんの挑戦を広くメディアに発表し、知的発達障害のある人達の可能性、そして日本ではまだまだ認知度の低いスペシャルオリンピックス活動を広めるための広報活動として開催いたしました。
- ◆協力：日本コカ・コーラ株式会社

【取材メディア】

- 1 テレビ局
 日本放送協会、TBSテレビ、TOKYO MX

2 全国紙

朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、共同通信社、時事通信社

3 専門紙

商業経済社、小売経済新聞社、スポーツニッポン新聞社、日本運動具新報社、食品産業新聞社

週刊食品、帝国飲食料新聞社、自動販売機新聞社

※ 参加メディア総数 計16媒体 25名



ユニフォーム提供：アディダス ジャパン株式会社

会場関連協力：(財)日本体育協会、日本スポーツマンクラブ、メディアセンス株式会社、株式会社ジェイブレイン

3.スペシャルオリンピックス・ユニティカップ

◆参加者：橘 勇佑

同行者：橘 ひとみ（母）、新宅 正明（SON副理事長）、
 宍戸 咲季子（SON広報）、園部 さやか（SONアスリートケア）

◆主なスケジュール（日本出発～スペシャルオリンピックス・ユニティカップ～日本帰国）

6月29日：日本出発→米国/アトランタ到着

30日：米国アトランタ出発→南アフリカ/ヨハネスブルグ経由→ケープタウン到着

7月 1日： 16:00 ウェルカムセレモニー

 19:30 夕食会 デザート会（コーチ、アスリートVIPゲストと交流会）

2日： 10:00 現地SO交流会

 14:30 チーム練習

 19:00 夕食会（南アフリカの著名人を迎えた催し）

3日： 14:00 スペシャルオリンピックス・ユニティカップ キックオフ

 19:30 夕食会（ユニティカップ表彰式）

4日：南アフリカケープタウン出発→南アフリカ/ヨハネスブルグ経由→米国アトランタ到着

5～6日：米国/アトランタ出発→日本到着

※デルタ航空からマイレージ寄付により往復渡航しました。

◆試合結果：（2－2）橘勇佑 10分間フル出場、1アシスト



ユニティカップに参加して

橋 勇佑

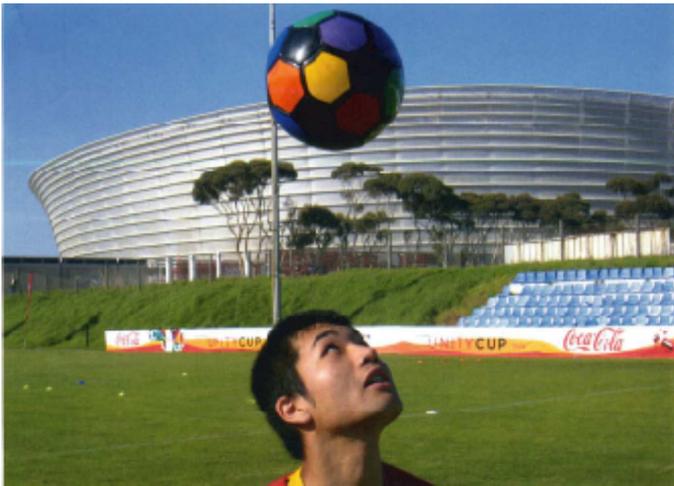
6月29日から7月6日まで、アメリカのアトランタ、南アフリカのケープタウンに行きました。まず成田空港を出発し、アトランタで1泊しました。アトランタでは水族館やコココーラの博物館、街並みを見たりして観光しました。

南アフリカのケープタウンでは、着いた翌日から地元のSO（南アフリカ）との交流会がされました。僕はサッカープログラムに参加し、日本人との差を感じました。体格・身体能力・筋肉の付きかた・練習のやり方等全てにおいて上でした。

午後からユニティカップに出場するメンバーと練習しました。その時初めて中田英寿さんに会い、喋ったりしました。その後バスに乗って練習場に向かい練習をしました。ズマ大統領やチャン・ツイイさん、ACミランのセードルフ選手とすごい顔ぶれでした。練習は楽しかったし、練習の際、中田さんに通訳してもらいました。

練習後、ホテルに戻りちょっとだけ休憩し16:00ぐらいから古いお城に移動してパーティーに参加し、南アフリカ料理を食べました。パーティーを終えてバスに乗り、ホテルに戻って直ぐに寝ました。

翌朝（試合当日）朝食を食べた後、11:00ごろまでゆっくりしていました。11:10くらいからグリーンポイントスタジアムに移動しました。着いてすぐウォームアップを10分くらい行い、5分後に試合をしました。試合は2-2の引き分けでした。自分が目標としていた1ゴール出来なかったことが悔しかったし、芝に水が撒いてあって足が滑りました。何本かシュートを打てたので、もっと精度を上げたいと思いました。



© PHOTO KISHIMOTO

2011 年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ 大会概要

スペシャルオリンピックスでは、オリンピックと同様に4年毎に夏季・冬季の世界大会を開催しています。2011年6月25日～7月4日の10日間にかけて、アテネで夏季世界大会が開催されます。スペシャルオリンピックス日本では、「2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」の結果を基に選考された日本選手団を派遣します。

1) 大会名称：2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ
英文：Special Olympics World Summer Games Athens 2011

2) 開催時期：2011年6月25日～7月4日
ホストタウンプログラム 6月20日～6月24日

3) 開催地：ギリシャ共和国、アテネ

4) 参加者：アスリート・・・185ヶ国・地域より7,500人
コーチ・役員・・・2,500人
ボランティア・・・25,000人

5) 日本選手団：アスリート 52人
コーチ・役員 23人



6) 開催競技・式典会場：22公式競技を実施／日本選手団として派遣するのは9競技

競技・式典	会場
開/閉会式	Kallimarmaro Panathinaikon Stadium
水泳競技	Olympic Aquatics Center (Indoor Pool) (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
陸上競技	Olympics Stadium (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
バドミントン	Fencing Hall 1 (HELC- Helliniko Olympic Complex)
ボウリング	Spata Blanos Sports Park (予定)
ゴルフ	Glyfada Golf Course
体操競技	Olympics Indoor Hall (HELC- Helliniko Olympic Complex)
卓球	Sports Training Halls 2 (SEFP- Peace & Friendship Stadium Pireaus)
テニス	Olympic Tennis Center (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)
バレーボール	Olympic Stadium Sports Hall (OAKA- Athens Olympic Sport Complex)

7) その他イベント

- ・ヘルシー・アスリート®/国際法執行者トーチラン®/・ホストタウンプログラム
- ・グローバルユースサミット/・スペシャルオリンピックスフェスティバル
- ・ユニティ・スポーツ・イベント